



最近地震が多いですね。今年の5月は石川県の震度6+をはじめとして日本全国で震度4以上が18回起きてます(2022年は1年間で51回)。南海トラフのの前兆、東日本大震災の余震だとか、日本列島が地震の活動期に入っているのだといわれています。昔から日本では地震は鯨(なまず)が地面の下で暴れるからだといわれ、その記録は日本書紀にまでさかのぼります。茨城県鹿島神宮と千葉県香取神宮にある「要石」は、鯨の頭と尾っぽを抑えて地震を鎮めているとされます。現代社会ではそんな馬鹿なといった感じですが、地震予知は昔同様にできません。数年以内に高確率で起こるとされる大地震に対して、数日分の飲み水と食料ストックくらいはしておきましょう。

医療現場で行われる検査や処置も準備が欠かせません。特に大腸内視鏡検査は前処置が十分でなければ検査の意味を成しません。当院では高齢で自宅での前処置困難な患者が入院して検査に臨むことがあります。確実な前処置を行いスムーズに検査を受けてもらえるよう万全を期さなければなりません。

検査1週間前: 電話で排便状態を確認。便秘がひどければ受診を促し下剤を追加処方する

検査前日: 検査当日の内服薬、インスリンなどの糖尿病治療薬の指示を確認。

検査前日に内服する下剤の指示(便秘の程度で前処置を調整しましょう)

①便秘なし(下剤の内服なしで1~2日に1回排便できている人)

食事: 検査食 下剤: プルゼニド2錠

②便秘あり(下剤内服で1~2日で排便ありの人、下剤なしだが数日便秘あり)

食事: 検査食 下剤: プルゼニド2錠+ピコスルファートNa1本

③重度便秘あり(下剤内服しているが数日排便がない人)

食事: 欠食とし水分摂取を促す 下剤: プルゼニド2錠+ピコスルファートNa1本+グリセリン浣腸



検査当日: ムーベン内服は朝の5時開始を予定。朝9時までに2リットル飲み切れるように



当院では大腸内視鏡検査を午前に行うことになっているので、スケジュールがタイト。高齢者ではコップ1杯が200mlとすると2リットル飲むには150分要します。順調なら朝8時には終わります。通常なら1リットル飲んだあたりから便意がでて排便が始まります。

一般の方

高齢の方



コップ1杯につき
10分



コップ1杯につき
15分

便性状スケール

EAファーマ株式会社動画参照

固形状態



泥状態



カスがある



透明



[AM8:40]進捗状況を主治医に報告し、下記を参考に指示を受けること。

▼排便なし~固形便の状態: グリセリン浣腸+ムーベン内服を促す

▼泥状便の状態: ムーベン1リットル追加内服

▼カスがある~透明の状態: 様子観察

[AM9:00]外来Nsが病棟へ連絡し、状態把握及び追加指示を行う。

前処置が思うように進んでいないときには30分毎に連絡を繰り返すこと。

便の状態の判定が難しい時には外来看護師やDrに観便を依頼すること。



高齢者では嚥下力の低下や、下剤内服中の嘔気などが前処置の妨げになることがあります。その際は無理をせず、早めに主治医に連絡して対応を検討しましょう。

便の状態を写真付きで分かりやすく解説したシートもあるので参考にしてください